

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第5回 ワークショップの開催報告

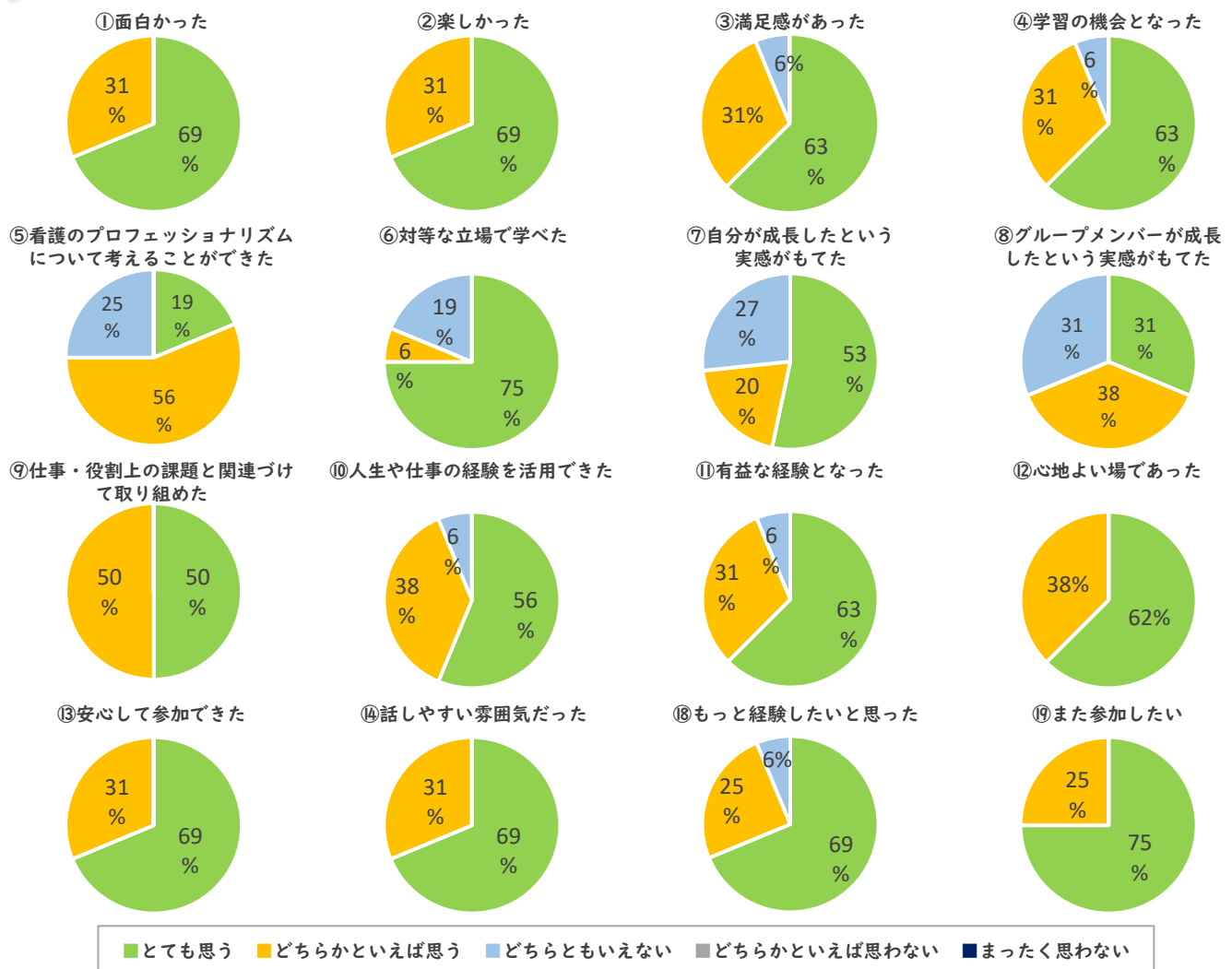
今回は、継続テーマ『立場を同じくして対等に学ぶ』の中で、「能動的学習」や「自己調整学習」について考えました。自己調整学習スキルは、学習者中心の教育の中でも重要視されています。物事の本質に迫ろうとする深い学びのアプローチは、看護の生涯学習にとって必須であり、この力をどのように育て、また維持させていくのが、とても大切であることを私自身も改めて感じることができました。ありがとうございました！

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2021年8月18日（水）13-15時

参加者：20名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答16名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ✓ 能動的学習には、その動機づけがカギであり、きっかけを逃さない重要性を感じた
- ✓ 少なからず普段から考えているテーマであり、大きな発見はないだろうと思って参加したが、人の意見を聴いたり自分で発言する中で新しい考えに気づくことができ、他者と共に学ぶことの大切さを実感できた
- ✓ 緊急事態宣言下で気持ちが沈んでいる中、様々な立場の方と話すことができ、とにかく楽しかった
- ✓ 病院で働いていると、自身の行動や考えを振り返ったり、他者と意見交換する機会が少なくなっており、WCでの交流はとても貴重な時間である
- ✓ 現任教育・基礎教育をとおして、看護のプロフェッショナリズムを育むために、どのような教育を実践していけばよいのか、共に考える仲間づくりの場に、このWCがなればよいなと思った